

優れた教員養成機関をどうサ ポートするか

山形県教育委員会 委員長

長 南 博 昭

どのようにサポートするか

大学と教育委員会との連携・協働

⇒ 中央教育審議会 答申(2012.8.28)

教育委員会と大学の連携・協働

- ◆ 管理職や教員に求められる資質能力を協働で明らかにすること。
- ◆ 実践的指導力を育成する教員養成カリキュラムを協働で開発すること。
- ◆ 教員養成段階の学習評価基準を協働で作成すること。
- ◆ 教育実習や学校現場体験の効果的な実施方法を検討すること。

- ◆ 大学と教育委員会、特に教職大学院と都道府県の教育センターとの一体的な体制を構築すること。
- ◆ 現職研修プログラムを協働で開発すること。
- ◆ 校内研修プログラムを協働で開発し、支援体制を構築すること。

教育委員会の「サポート」

- ① 教職に対して必要な「資質」を持っている学生を送り出す
 - ⇒ 現職教員の派遣
 - ⇒ 豊かな「感性」を身に付けている

② 学校での実践が分かる大学教員の配置を
すること

⇒ 実務家教員(人事交流)

③ 理論と実践が統合されたカリキュラムの作成・実施

⇒ 実践力の強化

教員の「資質」と「能力」とは

- ◆ 「資質」 ⇒ うまれつきの性質や才能。
習性。天性。
「資質に恵まれる」
「作家としての資質がある」
- ◆ 「能力」 ⇒ 物事をなし得る力。
はたらき。

教職に対する「資質」とは、何か

- ◆ 豊かな「感性」を持っている人であり、そして、子どもが大好きな人である。
- ◆ 本物の価値に気付く「感覚」が「感性」であり、人間性の基盤でもある。

- ◆ 豊かな「感性」は、多様な体験によって身に付くのである。

- ◆ その体験は、「四体験」であると考える。

二極対立体験

境目体験

追体験

原体験

図1 感性を解発する「四体験」

